

「日本のふるさと高千穂づくり計画」変更申請 新旧対照表

新	旧
<p>1. 地域再生計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>高千穂町は、九州のほぼ中央部、宮崎県の北西部に位置し、<u>総面積23,732ha</u>のうち森林面積が19,748haで全体の83%をしめている。町の中心部を九州山脈に源を發した五ヶ瀬川が東西に流れ、<u>町内</u>に名勝天然記念物高千穂峽の神秘的かつ雄大な大自然を創出している。</p> <p>また、県内外に「神話と伝説の里」として知られており、町内には天岩戸神社などの観光資源が多く点在し、年間100万人を越える観光客が訪れたが、通過型の観光が定着し、宿泊客の数が減少傾向にある。</p> <p>(略)</p> <p><u>さらに</u>、恵まれた自然環境を活かした農林業が盛んであるが、近年の一次産業を取り巻く情勢の変化に加え、高齢化・兼業化の進展、担い手不足による耕作放棄地の増加や手入れ不足森林がみえはじめた。</p> <p>(略)</p> <p>(1) 観光の整備</p> <p><u>高千穂町</u>においては、年間100万人を越す観光客が訪ねる。</p> <p>(略)</p> <p>しかしながら、訪れた観光客のうち宿泊客の占める割合は、過去10年間で12.6%～10.6%と低下しつつある。</p>	<p>1. 地域再生計画の名称 (略)</p> <p>2. 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p> <p>3. 地域再生計画の区域 (略)</p> <p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>高千穂町は、九州のほぼ中央部、宮崎県の北西部に位置し、<u>本町の面積23,732ha</u>のうち森林面積が19,748haで全体の83%をしめている。町の中心部を九州山脈に源を發した五ヶ瀬川が東西に流れ、<u>本町内</u>に名勝天然記念物高千穂峽の神秘的かつ雄大な大自然を創出している。</p> <p>また、<u>本町は</u>、県内外に「神話と伝説の里」として知られており、町内には天岩戸神社などの観光資源が多く点在し、年間100万人を越える観光客が訪れたが、通過型の観光が定着し、宿泊客の数が減少傾向にある。</p> <p>(略)</p> <p><u>また</u>、<u>本町</u>においては、恵まれた自然環境を活かした農林業が盛んであるが、近年の一次産業を取り巻く情勢の変化に加え、高齢化・兼業化の進展、担い手不足による耕作放棄地の増加や手入れ不足森林がみえはじめた。</p> <p>(略)</p> <p>(1) 観光の整備</p> <p><u>本町</u>においては、年間100万人を越す観光客が訪ねる。</p> <p>(略)</p> <p>しかしながら、<u>本町</u>に訪れた観光客のうち、<u>宿泊客</u>の占める割合は、過去10年間で12.6%～10.6%と低下しつつある。</p>

(略)

2) 農林業の整備

高千穂町の農業構造は土地基盤整備の遅れもあり、高齢化・兼業化の進展、農業後継者の減少、兼業農家が増加し、農業の担い手不足が深刻化している。

(略)

(3) 道路網の整備

町道については、集落間を結ぶ道路及び幹線道路の代替道路として、または、集落から中心部拠点施設へのアクセス道路として改良を中心に効果的な整備に努める。

林道については、大型機械の導入や作業道路の整備によるコスト低減を図る観点から、幹線となる林道の開設や既計画路線の改良事業継続を図り、また、自然を求めて訪れる観光客のアクセス道あるいは代替道路として位置づけられている路線もあることから、改良及び舗装の整備に努める。

また、国県道についても、主要幹線道路となっているため改良整備の要望を行っていく。

(目標1) 観光業の振興

(宿泊客の増 2.0%)

(観光客入込数 100万人)

(目標2) 林業の振興

(間伐実施面積の20%増加)

(目標3) 幹線道路の整備による作業路の確保

(林内路網密度目標値 41.8m/ha)

(目標4) 道路ネットワークの確保

(略)

(2) 農林業の整備

本町の農業構造は土地基盤整備の遅れもあり、高齢化・兼業化の進展、農業後継者の減少、兼業農家が増加し、農業の担い手不足が深刻化している。

(略)

(3) 道路網の整備

町道については、集落間を結ぶ道路および幹線道路の代替道路として、または、集落から中心部拠点施設へのアクセス道路として改良を中心に効果的な整備に努める。

林道については、大型機械の導入や作業道路の整備によるコスト低減を図る観点から、幹線となる林道の開設や既計画路線の改良事業継続を図り、また、本町においては、自然を求めて訪れる観光客のアクセス道あるいは代替道路として位置づけられている路線もあることから、改良および舗装の整備に努める。

また、国県道についても、本町の主要幹線道路となっているため改良整備の要望を行っていく。

(目標1) 観光業の振興

(宿泊客の増 2.0%)

(観光客入込数 100万人)

(目標2) 林業の振興

(間伐実施面積の20%増加)

(目標3) 幹線道路の整備による作業路の確保

(林内路網密度目標値 41.8m/ha)

(目標4) 道路ネットワークの確保

(町道改良率 0.2%向上、林道舗装率 3.0%向上)

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

(略)

(5-2) 法第五章の特別の措置を適用して行う事業
道整備交付金を活用する事業

整備箇所等は、別紙の整備箇所を示した図面による。

[施設の種類 (事業区域)、実施主体]

- ・町道 (高千穂町) 高千穂町
- ・林道 (高千穂町) 宮崎県、高千穂町

[事業期間]

- ・町道 (平成18～21年度)、林道 (平成17～21年度)

[整備量]

- ・町道 L=0.7km、林道 L=13.03km

[事業費]

- ・総事業費 1,505,169 千円 (うち交付金 901,013 千円)
- 町道 160,000 千円 (うち交付金 80,000 千円)
- 林道 1,345,169 千円 (うち交付金 821,013 千円)

(5-3) 支援措置によらない独自の取組

(略)

①道路整備

高千穂町において町道、林道は、集落間を結ぶ主要道路であり、また、観光資源へのアクセス道路となっているため改良及び舗装事業に取組、道路網の整備を行う。

②農林業の整備

(町道改良率 0.2%向上、林道舗装率 2.0%向上)

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

(略)

(5-2) 法第四章の特別の措置を適用して行う事業
道整備交付金を活用する事業

整備箇所等は、別紙の整備箇所を示した図面による。

[施設の種類 (事業区域)、実施主体]

- ・町道 (高千穂町) 高千穂町
- ・林道 (高千穂町) 高千穂町

[事業期間]

- ・町道 (平成18～21年度)、林道 (平成17～21年度)

[整備量]

- ・町道 L=0.7km、林道 L=8.54km

[事業費]

- ・総事業費 1,117,500 千円
- 町道 160,000 千円 (うち交付金 80,000 千円)
- 林道 957,500 千円 (うち交付金 459,750 千円)

(5-3) 支援措置によらない独自の取組

(略)

①道路整備

本町において町道、林道は、集落間を結ぶ主要道路であり、また、観光資源へのアクセス道路となっているため改良、及び舗装事業に取組、道路網の整備を行う。

②農林業の整備

(略)

また、機械の共同利用を推進するため、宮崎県、高千穂町、西臼杵森林組合等関係機関が連携して座談会を開催するなど当該作業システムの普及啓発を行う。

(略)

6. 計画期間 (略)

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に宮崎県評価委員会及び高千穂町建設課、農林振興課職員により必要な調査を行い状況を把握・公表するとともに、改善すべき事項の検討を行うこととする。

8. その他地方公共団体が必要と認める事項 (略)

(略)

また、機械の共同利用を推進するため、宮崎県、町、西臼杵森林組合等関係機関が連携して座談会を開催するなど当該作業システムの普及啓発を行う。

(略)

6. 計画期間 (略)

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握・公表するとともに、改善すべき事項の検討を行うこととする。

8. その他地方公共団体が必要と認める事項 (略)